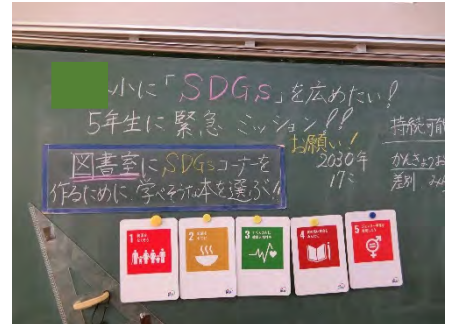
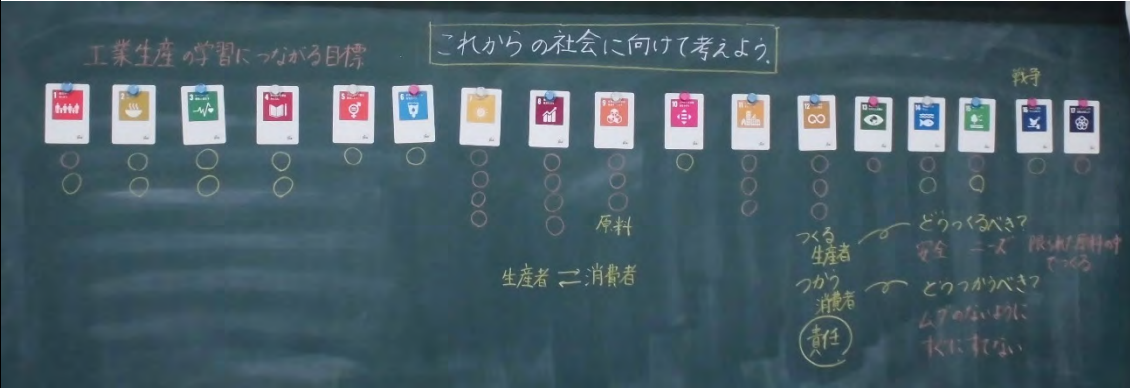

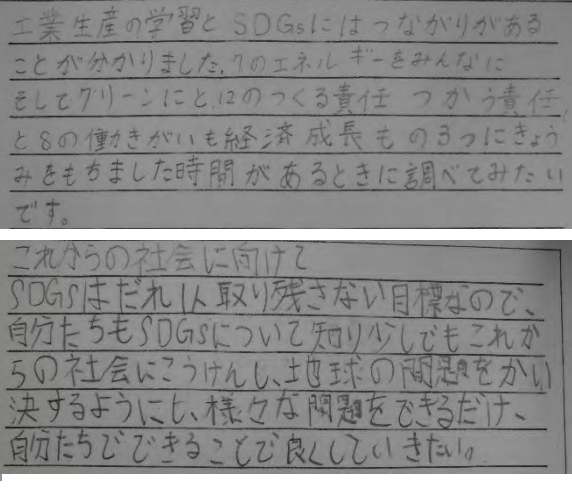





単元名	世界に目を向けて意見文を書こう	
対象校種	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	国語科
教科の目標	事実と感想、意見を区別して書き、説得力を持つように書き表し方の工夫をして文章を書くことができる。	
実践の様子	<p>①SDGs カードを用いたアイスブレイク</p> <p>SDGs を1人1枚配り、同じカードを持っている人を探すゲームを行った。相手に伝えてよい情報を絵柄と色だけにしたことで、自分の持っているカードの絵柄と目標のつながりについて理解を深めることができた。全体で答え合わせをする中で、お互いのカードの絵柄と目標への興味・関心が高まっていた。</p>	
	<p>②道徳～エンザロ村のかまど～との関連付け</p> <p>本教材では、JICA の一員であった岸田袈裟さんが、飲み水の問題に困るケニアのエンザロ村で支援を行ったという内容が書かれている。ただ便利な道具を提供するというだけでなく、現地の人々が長く使えるかまどの技術を伝えたという活動は、SDGs における「持続可能」という考え方と深く関連付いていた。本授業を通して、JICA の活動や発展途上国の状況、SDGs の必要性などについての理解を深めた。</p>	
	<p>③SDGs に関する資料を用いた意見文</p> <p>フェアトレードや児童労働に関する意見文を書く際、説得力を高めるために、SDGs に関する資料を活用した。SDGs の目標を紹介し、貧困をなくしていこうという意見を述べている児童や、SDGs の目的や考え方について記述している児童もいた。</p>	
	<p>④1人1人が意見文とSDGsの目標の関連付けを図る</p> <p>単元のまとめを行うにあたり、児童1人1人にSDGsの17の目標を切り分けた紙を配付した。その17の目標の中から、自分がまとめた意見文と関連する目標を選び、作文に貼るよう伝えた。本単元で学習した内容がSDGsと深く結びついていることや、複数の目標が関連付いているということに気付くことができ、SDGsへの理解が深まった。</p>	

単元名	SDGsについて学べる本を探して、〇〇小学校図書室にSDGsコーナーを作ろう！	
対象校種	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	国語科
教科の目標	・日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くことⅠ(3)オ	
実践の様子	<p>①12月中旬、5年生2クラスで実施した。SDGsについての知識については個人差が見られた。17の目標、マーク、簡単なエピソードについて紹介をした後、〇〇小学校の図書室にSDGs関連の図書コーナーをつくるために協力してほしい旨を伝えた。 ※今回は時間の都合で、カードを用いて書名を書きこむ活動のみとなった。</p> <p>②3～4人のグループでカードを用いて、17の目標について確認する。グループで分担し、選んだゴールに沿った本を探す活動を行った。事前に図書館司書に協力を要請し、目標ごとの本のリストを作成してもらった。自分の力で見つけることが難しい場合は、そのリストを見ながら本を探し当て、カードに書名を書く活動を行った。 興味をもって本を選ぶ様子が見られ、活動の時は集中して行うことができた。</p> <p>③集めた本は、図書室の机に並べ、振り返りを行った。環境系の本を見つけることは意外と簡単だったが、ジェンダーのこと、働きがいに関係のあるものについて見つけることはなかなか難しかったようだ。 「まだまだ探せそう」という声も聞かれたので、今後も興味をもってSDGsについて考えていこうという話をした。</p> <p>④事後、図書館司書の協力により、図書室にカードとともに本を並べてもらった。冬休み用の図書を借りにきた下級生が、興味をもって本を眺める様子も見られたとのことだ。 1月以降、図書室の本棚にSDGsコーナーを作り、5年生が書いたカードは図書室内に掲示することになっている。</p> <p>この取り組みをきっかけに、SDGsに興味をもつ児童が増えていくことを願っている。</p>	



単元名	これからの工業生産とわたしたち（5年）	
対象校種	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	社会科
教科の目標	原材料や工業製品はどのような輸送手段で運ばれるかに着目することで、我が国の工業は外国とどのような関わりがあるのかという視点で、貿易や輸送と工業生産を関連付けて考えることができる。	
実践の様子	<p>1. はじめに</p> <p>持続可能な社会の実現において、社会科の工業生産の学習と総合的な学習の時間の環境問題について合科的に考える授業実践をした。（下の写真は「これからの社会に向けて考えよう」という学習課題のものの板書である。）</p> 	
	<p>2. 授業の様子</p> <p>右の写真は4人1組の学習グループで、社会科で学習した工業生産とSDGsでどのようなつながりがあるかを話し合っている様子である。全部で5グループあったが、子どもたちはSDGsの目標と照らし合わせ、工業生産が持続可能な社会につながることを知ることができた。特に目標7. 8. 9. 11. 12は工業生産×SDGsで考えると、つながりが深いという意見が多かった。</p> <p>また、「他のSDGsの目標は関係ないのか」と発問して再度グループで話し合う時間を設けた。話し合った結果、17あるSDGsの目標すべてに○がつき、SDGsは一つの事象からすべての目標につながることを理解することができた。</p>	
<p>3. 子どもたちの授業後の感想</p> <p>振り返りで子どもたちが書いた感想の一部である。SDGsを初めて知った、SDGsが普段の学習でつながりがあること、調べてみたいことなどたくさん感想を書いていた。</p>	 <p>工業生産の学習とSDGsにはつながりがあることが分かりました。7のエネルギーとみんなにそしてグリーンにと12のつくる責任 つかう責任と8の働きがいも経済成長も のつぎにきょうみもちました時間があるときに調べてみたいです。</p> <p>これからの社会に向けてSDGsはだれも取り残さない目標なので、自分たちもSDGsについて知りたじもこれからの社会にこうけんし、地球の問題をかい決するようにも、様々な問題をひるだけ、自分たちびびきることび良ししいきたい。</p> <p>SDGsは、環境・平等のところがよく強く意識しているのので、17の目標を達成することで他の目標も、今まで見えなかったのが見たり環境がよくなったり人々が全てが平等になる兆しになるのかなと思いました。</p>	


単元名	これからの食料生産とわたしたち	
対象校種	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	社会科
教科の目標	日本の食料生産について、食料自給率や輸入など、外国との関わり、食の安全・安心についての取組に着目する。調べ、まとめることで食料生産の課題を捉え、食の安全、安心の確保、持続可能な食料生産、食料確保が重要な課題であることや、食料自給率を上げることが大切であることを理解できるようにする。また、学習したことを基に、これからの農業・水産業などの発展について、自分の考えをもつことができる。	
実践の様子	<p>(1) 前時と振り返り、本時の課題を確認する。</p> <p>①前時で学習した食料自給率が下がった理由について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の食生活が変わってきているから。 ・外国産の方が安いからではないか。 <p>②食生活の変化について話し合い、本時の課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料自給率の高い米ではなく、パンを食べる人が増えた。 ・肉をよく食べるようになった。(和食中心→洋食中心) ・いろいろなものが食べられるようになった。 ・食生活が変わったことが食料生産に影響しているかも知れない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 食生活の変化は食料生産にどのような影響を与えているのでしょうか。 </div> <p>(2) 食生活の変化と食料品別の輸入量の変化の関係を資料で調べる。</p> <p>①「一人1日あたりの食べ物のわりあいの変化(カロリーベース)」のグラフから食生活の変化を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンや肉を食べることが多いので、小麦や畜産物が増えたのではないか。 <p>②「食品別の輸入量の変化」のグラフから、食生活の変化は、食料生産にどのように影響を与えているか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小麦や肉、乳製品の輸入が多くなっている。 <p>(3) SDGsカードを活用し、調べたことを関連づけ、食生活の変化が少量生産や食料の確保にどのような影響を与えているか考え、話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>(4) 本時の学習の振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> 食生活が変化し、日本は多くの食材を輸入にたよっている しかし、大量に食料が廃棄される「食品ロス」の問題がある。 </div>	






単元名	これからの食料生産とわたしたち	
対象校種	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	社会科
教科の目標	食料自給率の変化に着目し、現状と課題を捉え、これからの日本の食料生産の在り方について、自分の考えをもつことができる。	
実践の様子	<p>①単元を貫く学習課題として、「日本の食料生産は、今後どうしていきべきか考えよう」を設定した。まず、現状を捉えることができるよう、日本と主要国の食料自給率のグラフなどを示した。日本の食料自給率の低さに驚く声が多く挙がった。そして、SDGsカードを活用し、SDGsの視点から、日本の現状と課題を考えた。目標1、2との関連から考えた児童は、「輸入がストップしてしまったら、飢餓で亡くなる人が出てくるのでは。」という意見を挙げていた。また、目標5との関連から考えた児童は、「健康と福祉の面から考えても、安心・安全な日本産の食料がもっと普及させるべきではないか。」という意見を挙げていた。SDGsのカードを活用することで、より広い視野から日本の現状と課題を捉え、今後、どうしていきべきか問題意識をもつことができたと考えた。</p> <p>②③「社会のニーズの変化」、「食品ロス」、「食の安心・安全」、「食の安定確保」をキーワードに、各自が課題と感じたことについて調べた。教科書やインターネットを活用し、資料から分かることと自分の意見を整理して、まとめるよう、見本を示した。</p> <p>④調べたことをクラス全体で共有し、その後、これまでの自分の考えについてまとめた。学習課題を意識することで、具体的にどうすればよいか、前時までの学習をもとに、考えをまとめていた。</p> <p>⑤意見交流を通して、考えの再構築を目指した。一人一人が自分の言葉で説明する場を設けるため、グループ内で発表した。その後、質疑応答の時間を設け、出た意見は全体でも協議した。『輸入と輸出のバランスをどうすればよいか』では、「まずは食品ロスを減らすこと、輸入もよいが、頼りすぎず、農業体験などを充実させ、将来的に農家で働く若い人を増やしていくことが重要ではないか。」という意見が出され、納得の表情を浮かべる児童が多くいた。話し合いを経て、日本の食料生産について、最終的な自分の意見をまとめた。「SDGsの視点から、世界が目指すものと一致しているか。」という問いを投げ掛けられた児童は、カードと照らし合わせながら考えた後、「自分の考えの『給食を残さず食べる』は、目標12のつくる責任、つかう責任に関係しているから今日から頑張りたい。」と答えていた。</p>	




単元名	流れる水のはたらきと土地の変化	
対象校種	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	理科
教科の目標	<p>流れる水の速さや量に着目して、それらの条件を制御しながら流れる水の働きと土地の変化を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。</p>	
実践の様子	<p>第4次 わたしたちのくらしを守るために</p> <p>①洪水を防ぐ工夫や洪水時の対策について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増水で土地が変化することなどから、自然の力の大きさを感じ、意欲的に調べようとする。 ・洪水や洪水に伴う被害を防ぐ工夫を調べ、まとめる。 <p>② SDGs の視点から、那珂川の治水について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>那珂川の洪水からわたしたちを守るためには、どうしたらよいだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ SDGs のどの目標やターゲットにつながっているか考える。 ・ 今まで学習してきたことと関連させて、人々を洪水から守る方法を考える。 ・ グループごとに考えを発表し、話し合う。 <p>SDGs カードを見ながら、様々な角度から考えることができた。</p> <p>わかりやすい「13 気候変動」「11 持続可能な都市」などは最初にててきたが、話し合ううちに「15 陸上資源」「4 教育」などにも目を向けられるようになり、森を守ることや、私たちの生活を守る方法を学ぶことも、関連していると気付くことができた。</p> <p>グループごとに、話し合ったことを jamboard にまとめ、発表をした。他の班の発表を聞きながら、自分の考えを深めたり、新たな視点に気付いたりすることができた。</p> <p>目標を達成するための方法では、「二酸化炭素の排出を減らす」「森を守る」「災害に強い都市をつくる」などが出てきた。もう一歩踏み込んで「それを達成するために自分でできることはなんだろう」と問いかけもう一度話し合った。「ゴミを減らす」「水を出しっぱなしにしない」「海にゴミを捨てない」「マイタイムラインを家族で話し合う」など身近な対策がたくさん出てきた。</p> <p>学習の振り返りでは、「私たちの対策が小さな一歩になってやがて世界に広がっていくことがわかり、じぶんも具体的な対策を進めようと思った」「目標を達成するには、わたしたちの日頃の生活を意識することが大切だった」と自分事としてとらえることができるようになった。</p>	



単元名	土地のつくりと変化(6年)	
対象校種	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	理科
教科の目標	土地やその中に含まれている物に着目して、土地のつくりやでき方を多面的に調べる活動を通して、土地のつくりや変化についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考えをつくりだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	
実践の様子	<p>①地層と化石</p> <p>児童は化石になる条件を調べることで土砂崩れや火山の噴火、洪水との関係に気付いた。その中で児童は地層ができることと環境の変化の関わりから SDGs③との関わりを感じていた。</p>	
	<p>②流れる水の働きと地層のでき方の関係</p> <p>浸食、運搬、たい積の仕組みをふり返り、れきが丸みをおびることに気付いた。加えて、大雨のときに水量が増え土砂崩れや洪水に考えが移行した。その中で、児童は地層を学ぶことと災害への対策を考える重要性から SDGs⑪との関わりを感じていた。</p>	
	<p>③火山の働きと地層のでき方の関係</p> <p>火山灰の層が複数あることから地層ができるまでに何度も噴火がくり返されたことに気付いた。噴火のようすを動画で見て、SDGs④と⑪との関わりを感じていた。</p>	
	<p>④火山活動や地震による土地の変化</p> <p>断層や土地の隆起、地震による土砂崩れ、噴火によってできるカルデラなどの自然現象から自然災害との関わりに発展した。「自然災害が起こりにくい場所で生活したいが、全ての人がそうできるわけではない。」との発言から話し合いが進み、SDGs④と⑪との関わりを感じていた。</p>	

単元名	私たちの生活と電気	
対象校種	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	理科
教科の目標	エネルギー資源の有効利用という観点から、電気の効率的な利用について捉えるようにする。	
実践の様子	<p>①日本の電力事情についての学習 火力発電が約 75% ↓ 二酸化炭素の増加 ↓ 地球温暖化 ↓ わたしたちにできることは？</p> 	
	<p>②日本の未来を考える学習(電気の利用を SDGs の視点で考える) 2つのグループに分かれ、テーマを決めて協働で学習を進める。 Google スライドに調べた内容をまとめ、プレゼンを行う。 Aグループ(SDGs11「住み続けられるまちづくりを」) Bグループ(SDGs13「気候変動に具体的対策を」)</p>  	
	<p>③地球の未来を考える学習 SDGs カードに今回の学習に関連している内容を書き込んでいく。</p>  	

単元名	水よう液の性質	
対象校種	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	理科
教科の目標	水に溶けているものに着目して、それらによる水溶液の性質や働きのちがいを多面的に調べる活動を通して、水溶液の性質や働きについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主により妥当な考え方を作り出す力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	
実践の様子	<p>① AC ジャパン・支援キャンペーンウォーターエイドジャパン～「命の水、命懸けの水」編～の動画を見せ、「命の水、だけど命がけの水」には、どのような意味があるのかを自由に考えさせた。</p> <p>児童からは、「ごみの入った水」、「ウイルスが入った水」などの意見が出され、自分の生活水準に合わせた考えしか出なかった。また、水溶液の概念と近い考えは出なかった。</p>  <p>② 「命にかかわるような水の存在」という問題がどこにあるのか、またSDGs 17の目標と照らし合わせて、どの目標が達成できればこの問題が解決するのか、みんなで考えた。</p> <p>「健康」や「水」が直接的に関係する目標3の「すべての人に健康と福祉を」や目標6の「安全な水とトイレを世界中に」、目標14の「海の豊かさをまもろう」などを選ぶ児童が多く見られた。</p>  <p>③ 原因を多面的にとらえられるよう、間接的に関わる事例を紹介し、その後、グループでの話し合いをもった。</p> <p>児童はカードを用いて、様々な意見を出し合いながら、諸問題がいろいろな要因に基づいて引き起こされていることに気付いた。</p>  <p>④ 学習後の振り返りでは、広い視野で問題が捉えられるようになった様子がワークシートから読み取れ、目標達成に対する意欲の向上も見られた。また、単元の終末では、学習した「水溶液」の内容を活用し、関連させて振り返りを行う様子が見られた。</p> <p>振り返り</p> <p>○かかわりがあると思ったカードの番号は？</p> <p>【学習前】</p> <p>3, 6</p> <p>【学習後】</p> <p>1, 2, 3, 6, 9, 10, 12, 17, 4</p> <p>○学習を終えて、自分の考えがどのように変わったか書きましょう。</p> <p>学習前はかかわっている物が「水」と思っていたけれど学習していろいろなかかわっていることや成分のSDGsの目標もいろいろあるように気がついた。</p>	

単元名	わたしの町 はっけん	
対象校種	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 特別支援学校	生活科
教科の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが住む町を探検し、様々な場所やもの、人に出会いながら、町への愛着や親しみを深めることができる。 ・身近な人々の働きを、SDGsの視点で考えることができる。 	
実践の様子	<p>「身近な人々がどんな役割をもっているか考える。」 ・活動範囲が狭い学年であるため、商店や研究機関など、身近な施設を挙げ、どんな人々が働いているのか考えさせた。</p> <p>① 「学校の周りを探検して、様々な場所やもの、人に出会う。」 ・探検の準備の時間に訪問先への質問を考えさせた。その際、SDGsカードを用い、質問がSDGsのどの視点に当てはまるかを話し合わせた。 (資料1, 2)</p> <p>② 「探検したことを学習用端末(スタディノート)にまとめ、人々の働きとSDGsの関わりについて考える。」 ・探検して発見したことや、訪問先でインタビューしたことをまとめる際、SDGsのどの視点と関連しているかを考えさせ、発表資料の中には、SDGsのシンボルマークを載せるようにした。 (資料3, 4)</p> <p>③ 「まとめたことを伝え合い、情報を共有する。」 ・探検のグループごとにまとめたことを発表し、質問したり、感想を伝え合ったりした。</p> <p>まとめ 本単元の学習に SDGsの視点に関連させることで、児童は、身の回りの施設や人々の働きをSDGsの視点でみるできるようになった。発表の場面では、資料のシンボルマークについて質問が出たり、別の視点も関連しているのではないかと、という発言があったりし、17の視点を幅広く考えられるようになった。</p> <div data-bbox="922 414 1428 840"> <p>(資料1)</p>  </div> <div data-bbox="922 862 1428 1288"> <p>(資料2)</p>  </div> <div data-bbox="922 1310 1428 1668"> <p>(資料3)</p> <p>(だい) うちゅうの絵がかいてあるマンホール</p>  <p>マンホールのふたにうちゅうの絵がかいてあるのを知ってびっくりしました。つかった水をおすいごうじょう(げすいしよりにじょう)にはこぶやくわりをしています。そしてまた新しい水をつかえます。SDGsの6番にかんけいしているなと思いました。</p> </div> <div data-bbox="922 1691 1428 2072"> <p>(資料4)</p> <p>ウェルシアの レジ やっきよくようのレジと、しよくりようようのレジが、分けられていて、いいなと思います。レジには、ストローや、わりばしなどがおいてあって、お弁当を買ったときに、つかえていいと思います。おみせの人は、おきゃくさんのことを考えているんだなと思いました。</p>  </div>	